令和４年度　大阪府豊能二次医療圏医療・病床懇話会　議事概要

■開催日時：令和５年１月11日（水）午後２時から午後４時

■開催場所：大阪府池田保健所　２階大会議室

■出席委員：20名

中出委員代理（北村委員）、松岡委員、梅森委員、小森委員、百々委員、飯尾委員、白水委員、御前委員、岡村委員、織田委員、野口委員代理（飯原委員）、矢野委員、

林委員、藤原委員、岡委員、北川委員、森口委員、渡邉委員、八木委員、藤田委員

■議題１　令和４年度「地域医療構想」の取組みと進捗状況

　資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料１】令和４年度地域医療構想の取組と進捗状況

■議題２　令和４年度 豊能二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

　資料に基づき、大阪府池田保健所から説明

【資料２】令和４年度豊能二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

（意見）

〇　豊能二次医療圏の高度急性期は過剰としているが、2,146床のうち60%の特定機能病院　2病院で高度急性期1,288床を占めている。この2病院以外の高度急性期を減らすと、本当に豊能二次医療圏の高度医療が成り立つのか懸念する。

〇　令和４年12月の豊能救急メディカルコントロール協議会でも、豊能二次医療圏の高度急性期・急性期の病床数は足りているのかという声があった。大阪府が作成している応需率のデータでは、大阪の8つの二次医療圏の中で、豊能二次医療圏は下から2番目位に悪い。医療・病床懇話会でも、もっと検討してほしい。

■議題３　令和４年度 豊能二次医療圏における各病院の今後の方向性

　資料に基づき、大阪府池田保健所から説明

【資料３】令和４年度病院プラン医療機関別一覧（豊能二次医療圏）

【資料４】令和４年度 豊能二次医療圏病院連絡会結果（概要）

【資料４（別添）】令和４年度 豊能二次医療圏病院連絡会結果

【資料４（別紙）】令和４年度 豊能二次医療圏病院連絡会参加率と病院プラン提出状況

【資料６】非稼働病床の現況について

１．過剰病床への病床転換を検討している病院からの説明

【豊中若葉会病院】

〇　115床の２病棟からなっている。２階病棟60床が地域一般入院料２の50床と、地域包括ケア入院管理料２の10床、計60床からなる。３階病棟は障がい者施設等入院管理料10対１の55床。一般病棟では主に救急患者及び整形の手術等を、障がい者病棟では主に人工呼吸器装着患者や、寝たきりの人工透析の患者を中心に長期入院患者を診ている。

〇　2025年に向けても主に、整形外科・内科における救急受け入れや診療において地域での役割を全うしていく予定である。

〇　救急医療を行うには、看護体制を強化して施設基準の変更をすることは必須と考えている。2025年までに現在の地域一般入院料２から急性期一般入院料６の取得に向けて、チーム確保や体制の整備を既に行っている。

【豊中敬仁会病院】

〇　60床の病院。内訳として、30床が急性期一般病床、30床が慢性透析患者を中心とした慢性期病床・障がい者病床である。

〇　消化器の領域においてレベルの高い迅速な医療を提供する専門性を前面に出すことが、小規模病院にできることと考えた。最先端の設備、医療を取り入れ、令和４年１月に内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ」を導入した。

〇　消化器領域を中心とした入院患者の増加があり、30床の急性期一般病床だけでは対応が困難になってきている。この慢性期の障がい者病床を急性期病床に転換を希望する。

〇　過剰病床への転換ということになるのかもしれないが、今回慢性期の障がい者病棟を急性期の一般病棟の方に変更したい。

２．箕面市新市立病院整備基本構想(案)概要について病院からの説明

資料に基づき箕面市立病院から説明

【資料３（別添）】箕面市新市立病院整備基本構想(案)概要版

〇　老朽化のため新築移転。豊能二次医療圏内の病院と再編統合を図って、指定管理者による運営を行うもの。

〇　医療機能を充実させるとともに、医師及び医療スタッフの継続的な確保のために、現在の病床よりも増床して、急性期で300～350床を確保したい

〇　回復期リハの継続も目指していきたい。

３．公立病院経営強化プランについて病院からの説明

資料に基づき市立豊中病院から説明

【資料３（別添）】 市立豊中病院運営計画(令和５年度～令和９年度)(素案)の概要

* 公立病院として、急性期医療を担う地域の中核病院として求められている役割を果たしていく。
* 急性期医療を中心とした専門的な医療の提供、地域の医療機関等との緊密な連携、この２つを柱としている。
* 地域がん診療連携拠点病院として、がん医療の強化や小児科・周産期・感染症といった他の医療機関での対応が困難ないわゆる政策医療を強化していきたい。

（豊中若葉会病院への意見）

〇　阪大病院の救命センターの20床程の病床をどのように稼働していくか、空床をつくるのに非常に苦労している。若葉会病院は、気管切開をした人工呼吸器を装着している挿管患者のような非常に難しいケースを引き受けてくれる最後の砦になっており、数値では評価できない地域医療への貢献も評価すべき。

（箕面市立病院への意見）

* 箕面市立病院が指定管理者を公募するということは、公立病院ではなく民間病院で考えたらいいのか。補助金を受けている病院が回復期リハ病床をするということは、民間病院を圧迫するということになる。

（箕面市立病院の回答）

* 公立病院として公設民営という形で、民間病院になるわけではない。政策医療（救急等）の部分については市からの繰入金として補助金が出るが、回復期病棟の部分では、市からの補助金はない。

（大阪府からの質問）

* 地域医療構想について国も実態と乖離している問題や地域医療構想自体が元々2013年の状況を一定前提として作られている。我々も地域の声を国の方に伝えたいと思っている。

ご意見をいただきたいのが、高度急性期が足りないという部分で、ICU・HCUが足りないという認識でよいか。

（委員の回答）

* 豊能二次医療圏は偏在が大きく、局所的にICU・HCUが足りない。また、救急医療を受け入れる急性期病床が足りないと思う。

■議題４　外来機能報告の報告期限の延長

　資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

　【参考資料７】厚労省 外来機能報告制度に関する説明会（令和4年12月）資料抜粋

■議題５　地域医療への協力に関する意向書の提出状況

　資料に基づき、大阪府池田保健所から説明

【資料７】地域医療への協力に関する意向書提出状況（診療所新規開設者）

【資料７（別添）】診療所開設後の「地域医療への協力に関する意向」について（報告）

【資料８】地域医療への協力に関する意向書提出状況（医療機器新規購入・更新者）

【資料８（別添）】＜医療機関別回答一覧＞ 地域医療への協力に関する意向書提出状況

（医療機器新規購入・更新者）

■議題６　第７次大阪府医療計画における取組状況の評価について

　資料に基づき、池田保健所から説明

【資料９】第７次大阪府医療計画PDCA進捗管理票　豊能二次医療圏

（質問）

* 資料7の地域医療への協力に関する意向書提出状況について。例えば、今まで個人開設だったのが、法人化したものも含まれるのか。

（大阪府池田保健所の回答）

* 含まれる。